



陽光の園 だより



社会福祉法人 緑葉会

生活介護事業所 陽光の園

令和2年5月28日発行

第30号

最近の様子は・・・

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言も全都道府県で解除されましたが、依然として新型コロナウイルスの感染予防を行う日々です。第2波と言われる、感染拡大時の対応も考えつつ、国が提唱する「新しい生活様式」を可能な限り実施します。

しかし、支援が必要な障がいのある人と支援者では、密接になる状態が多いです。今後、どの様にして密接を削減できるのか試行錯誤をしています。

また、日々の利用者の方のプログラムにおいても請負作業が殆んどなくなりました。そのため毎日のプログラム内容の見直しも必要です。

「新しい生活様式」によって、今まで当たり前だと思っていたことが、できなくなっている現在、こんな時だからこそ新たな支援方法や陽光の園の今後の在り方をみんなで話し合い摸索していく必要があると感じています。

F・P・バイステック『ケースワークの原則』の書籍を再び読み返してみました

クライアント（利用者）とケースワーカー（支援者）とが援助関係を形成する上の基本として紹介されるのが、バイステックの「ケースワークの7原則」です。

「ケースワークの7原則」とは、個別化、意図的な感情の表出、統制された情緒的関与、受容、非審判的態度、クライアントの自己決定、秘密保持の7つです。様々な研修ではこの7原則について講義等がなされることが多いですが、クライアントとケースワーカーとの間に生まれる相互作用として、クライアントのニード（要求）、ケースワーカーの反応、クライアントの気づきの3つの方向も重要な要素とされています。

要するに、バイステックの『ケースワークの原則』は、“3つの「方向」”と“7つの「原則」”という軸によって、援助関係における相互作用を分類、整理したものになります。

そう考えて読むと、とても奥深くこのような時期がゆえに次への示唆が隠れていると痛感しました。

伊豆山農園のその後

伊豆山農園では、ジャガイモが大きく育っています。5月には、トマト、ナス、オクラの苗を植え、里芋、生姜、落花生を蒔きました。今後どの様に生育するか楽しみです。



～ 令和2年6月の「陽光の園」予定 ～

- 6月 4日（木） 健康診断・身体測定
- 6月 26日（金） 交通安全教室

